

平成 28 年 10 月 11 日

意見発表

西村委員

私は、当委員会に付託されている定県第 89 号議案、平成 28 年度神奈川県一般会計補正予算ほか諸議案及び所管事項について、公明党神奈川県議会議員団として意見を申し上げます。

まず、入学者選抜採点システム整備費について申し上げます。

かねてより我が党からは、マークシート方式の導入に当たって、ヒューマン・エラーの防止を訴えておりましたので、システムの導入は採点誤りを防ごうという意識の表れと捉えております。ぜひこの採点システムを有効に活用されますようお願いいたします。

次に、県立図書館に関する報告の中で、再整備の方向性の一つとして現本館を魅せる図書館として改修し、所蔵する記録フィルムの放映を行うという説明があり、大変重要な取組であると考えております。今後は、再整備の中で新館を書蔵庫として改修する際に、フィルム等の資料の保存、復元にも配慮し、県民の貴重な財産を後世に引き継いでいただくよう要望します。

次に、教員が児童・生徒と向き合う時間を確保する観点から、チーム学校について質問し、県教育委員会としてチーム学校に関連する施策を様々な形で展開されていることを伺いました。確認の意味で、改めて次のことを要望いたします。

一つ、教員が担うべき業務に専念し、子供と向き合う時間を確保するため、学校や教員が携わってきた従来の業務を不断に見直し、教員の業務の適正化を促進すること。

一つ、部活動においては教員の負担軽減を図りつつ、部活動の指導を充実するため、地域のスポーツ指導者や引退したトップアスリート、退職職員、退職教員、運動部や文化部所属の大学生等、地域の幅広い協力を得て行えるよう環境整備を進めること。

一つ、教員が長時間労働するという働き方を見直し、心身ともに健康を維持できる職場づくりを促進するため、実態調査の実施やメンタルヘルス対策の推進を図ること。また、これらのことを推進するため、教職員体制の整備、充実を図るとともに、専門職員や専門スタッフ等が学校運営や教育活動に参画していくチーム学校の実現を図るため、チーム学校推進法を早期に成立させるよう国に働き掛けられますよう要望します。

また、学校運営に関しては、校長を補佐する体制の整備について伺いました。校長を支える学校経営サポート事業がスタートしましたが、複雑化する課題に取り組む学校長をきめ細やかにサポートできるよう、さらなる取組の充実を希望します。また、副校長、教頭の確保について、年齢要件の緩和などを行い工夫されていると確認しましたが、管理職の成績率の見直し等も検討して人材の

確保を図られますよう要望いたします。

次に、特別支援教育について申し上げます。

7月26日に県立津久井やまゆり園で、障害者への異常な偏見から起こされた犯行は、決して許されるものではありません。折りしも特殊教育から特別支援教育となって今年で10年。共生社会の実現に向けて特別支援教育の重要性は増しています。この10年で見えてきた課題の一つとして、子供たちの障害の重度化、重複化、多様化に伴った、より高度で専門的な機能が求められています。県では、理学療法士などの専門職を自立支援教諭として配置されているということですが、今後展開されていくインクルーシブ教育の充実のためにも、自立支援教諭の増員を図り、市町村の相談支援に派遣したり、地域の小中学校の教員や保護者の相談に対応したり、特別支援学校のセンター的機能の充実を図られますよう要望します。

また、国に対し、これら専門職の地位や権限、予算の確保が図られるよう働き掛けをお願いいたします。

以上、意見、要望を申し上げ、本委員会に付託されております全ての議案に賛成し、意見発表を終わります。